



田中高久
(創造みらい半田)



様々な背景を抱える子どもの健全育成に向けた環境整備

問 障がいや病気により、学童保育に通うことができない子どもの状況を伺います。

今年度、通うことができなかったケースは把握していませんが、過去に怪我を負わせる恐れがある他害行為を理由に断ったケースがあることを確認していません。

問 障がいや病気を抱える子どもの受入れについて、新たに始めた取組みを伺います。

専門的知識を有する「放課後児童クラブ巡回アドバイザー」による巡回相談を行う等、適切な対応や理解の強化に努めています。

問 障がいや病気を抱える子どもを受入れた際の加算の仕組みの強化が必要だと考えますが見解を伺います。

国の基準に沿って、現行の取組みを継続しつつ、クラブへの聞き取り等を通して実情を把握し、国や県に要望を行っていきます。

問 事業者が障がいや病気を理由に受入れを拒否した場合の半田市としての対応を伺います。

クラブ側に合理的配慮が見られない場合は適切に指導をしていきます。また、クラブが独断で入所を断ることがないように、相談体制を徹底していきます。



麻生七海
(公明党)



災害への備え

問 本年1月に発生した能登半島地震以降に半田市が備えたことを教えてください。

災害対策の基本である「自助・共助・公助」それぞれの視点での備えを実施しました。

問 政府の防災基本計画の修正中、避難所運営の項目で半田市で行う対応を教えてください。

愛知県の防災計画に修正が反映された上で、各自治体に具体的な修正内容の提示と修正指示が通知される流れになっているため、愛知県からの指示が出た段階で対応していきます。

問 避難所における災害関連死対策をどのように取組みますか。

避難所内に予防法のチラシを掲示し、啓発に努めると共に保健師による保健指導を実施し、避難者の健康維持を図ります。

問 猛暑日における避難所の熱中症対策の考えを伺います。

エアコン等空調設備のある公共施設を中心に避難所の開設に努め、大型ファンによる送風やこまめな水分補給を促します。

問 半田市に気象防災アドバイザーを任用の考えはありますか。

台風等の異常気象に対しては、ウェザーニューズや気象台の「地域担当チーム」に様々な気象・地震・津波についての相談や情報収集体制を整備されており、気象防災アドバイザーを任用する考えはありません。



芳金秀展
(創造みらい半田)



第7次半田市総合計画の中間見直し

問 土地利用構想にある新土地需要ゾーンについて、今後どのような展開を予定していますか。

社会経済動向を敏感に捉え、産業用地の需要に対応していくことで、賑わいと活力のある計画的な土地利用を図っていきます。

新たな産業振興策としての道の駅構想の実現

問 新病院や、半田びよログスポーツパークの近隣に道の駅が設置されることは、公共交通やそれぞれの施設に対しても相乗効果ががあると思いますがいかがですか。

道の駅が設置されることでバス路線の新たな目的地となり、バス利用者の利便性が高まります。加えてそれぞれの施設利用と併せて、買い物や食事をするなど、互いに利用が高まることで集客などの相乗効果が期待できます。

問 産業振興の有力な手段として道の駅を設置するべきだと思いますがいかがですか。

道の駅については、地元の農産品や土産品の販売など農業・商業の振興や、観光レクリエーションなどにも寄与し、集客の効果も十分期待できます。一方で、事業の採算性、建設や用地買収にかかる費用、農振法等の規制などクリアすべき課題も多くありますので、調査研究を進め、判断していきます。

